

超高齢者の急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法の安全性と有効性についての研究

2013年4月～2018年9月までに当院に入院した急性期虚血性脳卒中(脳梗塞/一過性脳虚血発作)807例のうち、rt-PA療法を施行した患者さん

研究協力をお願い

当科では「超高齢者の急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法の安全性と有効性についての研究」という研究を行います。この研究は、2013年4月～2018年9月までに当院に入院した急性期虚血性脳卒中(脳梗塞/一過性脳虚血発作)患者さんのうち、rt-PA療法を施行した患者さんを75歳未満の若年群、75歳以上90歳未満の高齢群、90歳以上の超高齢群に分けて登録し、高齢者、超高齢者に対する治療成績と安全性に関して検討する研究です。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：超高齢者の急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法の安全性と有効性についての研究

研究期間：2022年1月1日～2022年12月31日

研究対象期間は2013年4月～2018年9月

当院における研究責任者：脳神経外科 木村麗新

(2) 研究の意義、目的について

高齢者・超高齢者の脳梗塞症例は年々増加傾向にあり、日常診療の中で rt-PA 静注療法の適応となる高齢者、超高齢患者に遭遇することが度々あります。rt-PA 適正治療指針では81歳以上に対しては慎重投与となっているが、80歳より高齢の患者にも安全に使用可能であるとする報告は国内外で見られているため、今回我々は当院での急性期脳梗塞に対する rt-PA 療法施行例より高齢者、超高齢者に対する治療成績と安全性を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について(研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について)

2013年4月～2018年9月までに当院に入院した急性期虚血性脳卒中(脳梗塞/一過性脳虚血発作)807例のうち rt-PA療法を施行した62例を対象とし、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：なし

情報：年齢、性別、脳卒中の治療経過、画像所見、転帰等

これら情報を用いて統計解析を行い、超高齢者の急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法の安全性と有効性について検討を行います。

(4) 共同研究機関(試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者)

なし

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されま

せん。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

浜田医療センター 脳神経外科 木村麗新

〒697-8511 島根県浜田市浅井町 777-12

電話番号：0855-25-0505（代表）

メールアドレス：kimura.yoriyoshi.qv@mail.hosp.go.jp